

データ番号	405
効用の種類	物理・化学作用による環境改善効用
見出し	1人の酸素量をまかなうには30～40㎡の緑被地が必要
出典	(『緑の本～女子美術大学公開講座』1992 求龍堂) 「環境としての「緑」」進士五十八
内容	光合成は、植物が空気中の炭酸ガスと地中から吸い上げた水分を太陽エネルギーの力を借りて葉緑素によって反応させ、グリコース（デンプン）と酸素を合成することである。一般に、人間1人が年間呼吸する酸素量をまかなうには、少なくとも*150㎡の葉の面積が必要といわれ、それは「**30～40㎡の緑被地（樹木や草や芝でおおわれている土地）」が相当するといわれている。
備考	*ブナの光合成量： 高さ25m枝張り直径15mぐらいのブナの樹（葉面積1600㎡相当）であれば、1時間に2400gの炭酸ガスと960gの水と太陽エネルギー（607kcal-）を消費してグリコースを生成し、1712gの酸素を大気中に放出する ***ベルナッキー博士（1968～）